

# 行政の窓

## 令和3年度林野庁関係当初予算等について

令和3年度林野庁予算は、令和2年12月21日付けで概算決定され、総額は、3,033億円（対前年度比100.9%）となりました。また、同日付けで、令和2年度第三次補正予算が措置されました。

### 《令和2年度第3次補正予算 主要事項の概要》

事業等名	対策のポイント	主な内容
合板・製材・集成材国際競争力強化対策 (36,265百万円)	木材製品の国際競争力の強化、新たな農林水産物の輸出目標の達成に向けて、加工施設の大規模化・高効率化、他品目への転換や木材製品の高付加価値化等を支援するとともに、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、間伐材生産等を支援。さらに、非住宅分野等における木材製品の消費拡大や新技術の実証とともに、輸出先国のニーズに対応した性能検査・実証、販売力強化を担う経営者層の育成などを支援。	1 合板・製材・集成材工場等が行う輸出拡大に資する高付加価値化、大規模化・高効率化（省人化・省力化等コロナ対策に資する施設導入を含む）、他品目転換等を支援。 2 大径材を含む原木を低コストで安定的に供給するため、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入や間伐生産等を支援。 3 幹線となる林道の整備と搬出間伐等を実施。 4 輸出拡大にも資する販売力強化に向けた人材育成や労働安全衛生対策の強化の取組を支援。また、輸出先国のニーズ・規格等に対応した製品開発や性能検査・実証、輸出先国への重点プロモーション活動、きのこの生産施設整備等を支援。 5 非住宅分野等の外構部も含めた木造化・木質化等を推進。伐採・造材作業の自動化・遠隔操作技術の導入・実証、木質燃料の品質向上に資する施設整備等を支援。

### 《令和3年度予算 主要事項の概要》

事業等名	対策のポイント	主な内容
林業成長産業化総合対策 (12,313百万円)	意欲と能力のある林業経営者の育成や経営の集積・集約を進めるため、路網の整備・機能強化、間伐、木材加工流通施設の整備、スマート林業・新素材開発等の「林業イノベーション」の推進、都市の木造化の促進、木質建築資材の利用環境整備等、川上から川下までの取組を総合的に支援。	1 林業・木材産業成長産業化促進対策 (1) 持続的林業確立対策 路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、間伐材生産、マーケティング力の強化等 (2) 木材産業等競争力強化対策 意欲と能力のある経営者との連携を前提に行う木材加工流通施設、木造公共建築物、木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設の整備 (3) 林業成長産業化地域創出モデル事業 地域の活性化に取り組むモデル的な地域を優先的に支援 2 林業イノベーション推進総合対策 (1) 林業イノベーションハブ構築事業 産学官のプラットフォームを設立し、各事業の助言や技術開発の方向性の提言等、PDCAプロセスを支援 (2) 戦略的技術開発・実証 林業機械の自動化、木質系新素材等の戦略的案件的開発・実証 (3) 開発技術の実装 ICT等を活用したスマート林業の推進、国有林での森林資源データの整備や情報通信基盤整備等の実証等 (4) 普及に向けた環境整備 レーザー計測等による情報のデジタル化、早生樹母樹林の保全・整備、低コスト造林技術の活用推進等 3 木材の需要拡大・流通改革 (1) 木材産業・木造建築活性化対策 都市の木造化の促進、CLT・LVL等の建築物への利用環境整備、需給情報の共有、マッチングの取組の推進 (2) 木材需要の創出・輸出力強化対策 公共建築物等の木造化・木質化、木質バイオマスの持続的利用のための体制づくり、民間企業ネットワークの構築等 4 現場技能者キャリアアップ・林業労働安全対策 現場管理責任者等の育成、森林施業プランナーや森林経営プランナーの育成、専門家による安全診断、最新装備を用いた安全研修等の実施等 5 林業・木材産業金融対策 利子助成や債務保証、低利融資などの実施により、意欲と能力のある経営者等が行う設備投資等に対する支援を充実

※ 詳細については、次の林野庁ホームページをご参照ください。

令和3年度当初予算：<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/201221.html>

令和2年度第三次補正予算：<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/201215.html>

（水産林務部林務局林業木材課林業木材係）